

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月29日更新

事務事業名		図書館まつり実施事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会	課長名	岐部 則夫
	施策	21	生涯学習の推進				所属課	生涯学習課	担当者名	森田 由貴恵
	施策の柱	67	学習への参加機会の提供				所属班	図書館班	(内線)	2532
予算科目		会計一般	款10	項5	目8	事業連番10811	根拠法令	図書館法第3条(図書館奉仕)、合志市立図書館条例第5条	成果優先度評価結果	②
									コスト削減優先度評価結果	⑪
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	図書館利用促進を目的に平成8年旧両町の時から実施されている。合併前は合志館(現ヴィーブル館)は”ヴィーブルフェスタ”の一環として実施していたが、合併後、西合志館は毎年10月末に開催、ヴィーブル館は”合志市文化フェスティバル”の一環として11月に実施している。いずれも毎年一定の参加者がある。また、合併により市立小中学校の児童生徒に対する「わたしのすすめる本」などの募集が広範囲になり、周知や優秀作品の選定作業などの事務量が増加している。
【業務の流れ】	『図書館まつり』…事業計画、会場申請、関係者への依頼等、チラシ・ポスター製作、配布、準備、会場設営、実施、報告 『作品募集』…小・中学校へのチラシ配布や広報等による作品の募集・選定・記念品購入・入選作品の掲示・作品集作成・表彰式実施
【主な予算費目】	報償費(講師謝金・副賞品代)・需用費(材料購入)
【意見や要望】	小中学生の作品の応募は増加傾向だが、一般の応募が毎年少ない。募集方法などを検討する必要がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO) 西合志図書館(講演会・おはなし会・リサイクル図書・ブックカバー教室・体験教室・マジックショー・お昼の星空観望会・図書館クイズ・移動図書館車公開など) ヴィーブル図書館(読書感想文集等を募集入選作品の表彰・リサイクル図書・おはなし会・自転車の紙芝居やさん・読書クイズなど)		28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 体験教室や、お話会の内容など内容を再検討し、次年度も同様に実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 事業開催回数	回	読書感想文等入賞者等への賞品・記念品費の増額
→ イ 事業開催日数	日	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		→ ア 人口
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
読書活動の推進を図る。		→ ア 事業参加者数(延べ)
		→ イ
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・事業の成果として参加者を設定するのが適当である。・日程の変更が考えられるため若干低い設定にした。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア回		1	1	1	1	1	1	1	1	
	イ日		4	4	4	4	4	4	4	4	
② 対象指標	ア人		58,237	59,067	59,200	60,008	60,100	60,900	61,500	62,000	
	イ										
③ 成果指標	ア人		3,457	3,718	4,000	4,180	4,000	4,000	4,000	4,000	
	イ										
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	176	162	255	216	261	195		
		(A)のうち指定経費	千円	176	162	255	216	261	195	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	0	0
		延べ業務時間	時間	530	530	140	870	140	140	0	0
	(B)人件費計		千円	2,111	2,111	557	3,230	557	557	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,287	2,273	812	3,446	818	752	0	0	

事務事業名	図書館まつり実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度的事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 西合志館・ヴィーブル館でそれぞれ実施したが、目標を超える参加があった。
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 市民が参加したいと思えるような内容を検討し、周知をはかる。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 少ない予算で授業を充実させるためには、職員が手作りで準備するなど人材が必要。通常の業務にも支障をきたすため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 『合志市文化フェスティバル』の一環として実施している『ヴィーブル図書館まつり』と本館の『西合志図書館まつり』を統合することは、目的が違うためできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 消耗品と講師謝礼など最小限の予算で実施している。大会賞品は年々単価が増額しており、これ以上の削減はできない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 図書館職員の約8割を占める非常勤職員に頼るところが大きい。正規職員の業務時間を削減することは不可能であり、既に非常勤職員が主体となって図書館まつりを行っている状況である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 図書館法により無料の原則に則って運営している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 図書館主催の行事であり適正である。なお、おはなし会などボランティア団体に協力いただいている。

3 評価結果の総括（CHECK）

まつりには多くの市民の参加があり、一定の成果があったと考える。今後もより多くの市民の参加があるよう工夫したい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 行政改革大綱及び合志市集中改革プランにより図書館の指定管理を検討している。指定管理後は新設した「図書館管理運営委託事業」に統合。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							